

基本目標1 それぞれの生き方を目指そう(基本施策1～3)

基本施策1 女性のための学習講座の充実

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
1	働く女性のためのスキルアップセミナー	地域経営課	継続	<p>実施時期:11月13日(土)、11月21日(日)(2回連続講座)</p> <p>対象:働く女性</p> <p>目的:働く女性の学習機会を提供するとともに、学習を通じての仲間づくりや交流を促進する。</p> <p>内容:子育てや家事と仕事の両立について、その他仕事のスキルアップにつながる内容の講座を開催する。</p> <p>前年度からの改善点:職場や家庭で必要になるスキルで実践しやすい内容とすることで、2回連続の受講につなげる。</p> <p>目標値:仕事と家庭の両立において参考になったと回答した人が70%以上</p> <p>予算額:20千円</p>	<p>参加者数:1回目…9人、2回目…11人、うち2回連続参加8人)</p> <p>内容:1回目…強みを活かしたキャリアデザイン～自分らしく働くためにできること～</p> <p>2回目…自分軸で考える心の片付け方～思考のクセを知ることでも心を健康に～</p> <p>工夫した点:昨年度のセミナー時にワークショップがなかったことについて意見があったため、ワークショップ中心のセミナー内容とした。また、セミナーの周知のため、「三条市勤労者福祉共済だより」に記事を掲載し、周知に努めた。</p> <p>目標値に対する結果:アンケートで仕事と家庭の両立において参考になったと回答した人が90.9%(10/11人)で目標値達成</p> <p>決算(見込)額:20千円</p>	<p>今後も受講満足度を高めるために開催時間や内容を工夫していく。また、参加者増加のため、周知方法についても工夫していく。</p>	<p>A</p> <p>1…3点</p> <p>2…3点</p> <p>3…3点</p> <p>4…3点</p> <p>5…3点</p> <p>6…2点</p> <p>合計</p> <p>17/18=</p> <p>94.4%</p>
2	ひまわり専科	生涯学習課(嵐南公民館)	継続	<p>実施時期:6月～12月</p> <p>対象:成人女性</p> <p>目的:家庭や社会を取りまく生活環境の変化に対応して、女性を中心に、これからの生き方や生活・健康など暮らしの知識の習得する学習を通し、趣味や教養を深めるとともに、仲間づくりといきいきとした社会生活に役立てることなどを目的に開催する。</p> <p>内容:①脳トレ②とんぼ玉作り③熱中症予防④宝石せっけん作り⑤笛の演奏会⑥魚料理⑦英会話⑧パーソナルカラーを学ぶというテーマで8回開催する。</p> <p>前年度からの改善点:市民の需要に応えるとともに、幅広い角度から女性が自分らしく生きること役立つよう、時事テーマやものづくり体験など新たなテーマを取り入れて計画した。</p> <p>目標値:アンケート結果で「楽しい/興味深い内容だった」「理解しやすかった」と回答した人が70%以上</p> <p>予算額:76千円</p>	<p>参加者数:24人</p> <p>内容:7回開催(⑤笛の演奏会は中止)</p> <p>女性が教養を深め、自分自身を高めて充実した生活を送る助けとなった。</p> <p>工夫した点:女性がいきいきとした生活を送れるよう、女性が興味を持ちそうなテーマを選定して実施した。</p> <p>目標値に対する結果:アンケート結果で、「楽しい/興味深い内容だった」と回答した人が70%以上、「理解しやすかった」と回答した人は20%で目標値未達成</p> <p>決算(見込)額:64千円</p>	<p>引き続き、市民の需要と見極め、内容を精査して開催する。</p>	<p>A</p> <p>1…3点</p> <p>2…3点</p> <p>3…3点</p> <p>4…3点</p> <p>5…3点</p> <p>6…2点</p> <p>合計</p> <p>17/18=</p> <p>94.4%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
3	女性セミナー	生涯学習課 (下田公民館)	継続	<p>実施時期:5月～12月 対象:主に下田地区の女性 目的:女性が現代社会において知識の習得や教養の向上を目指し、様々な事を学習し、豊かで充実した生活が送れるよう開催する。 内容:①開講式・自分らしく生きるための開運講座②お家で本格中華! 点心に挑戦③ゆがみを調べて健康なカラダに④夏の疲れを癒すハーブティブレンドドレス⑤市議会傍聴と下田産八十里越え弁当の試食⑥大谷地和紙で作るランプシェード⑦今を豊かに生きる整理収納講座⑧閉講式・お正月を彩るフラワーデザイン</p> <p>前年度からの改善点:女性が自分らしく豊かに生きることを目的とし、また、地元三条や下田をより知るための講座を取り入れた。 目標値:満足度アンケート(5段階評価)で5・4が80%以上 予算額:47千円</p>	<p>参加者数:41人 内容:7回開催(⑤市議会傍聴と下田産八十里越え弁当の試食は中止) 工夫した点:女性も政治に興味を持ってもらえるよう市議会の傍聴を取り入れ、楽しみにされている方も多かったが、公民館の休館に伴い実施できなかった。他の講座は全て参加率も高く満足していただくことができた。 目標値に対する結果:満足度アンケート(5段階評価)で5・4が100%だったため目標値達成 決算(見込)額:47千円</p>	<p>今年度は定員25名のところ、41名もの方に参加いただいたため、今年度の実施方法を基により内容を充実させて実施する。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…2点 合計 17/18= 94.4%</p>
4	男女共同参画講座	地域経営課	継続	<p>実施時期:12月11日(土) 対象:一般市民 目的:「ひと(女)」と「ひと(男)」にかかわる様々な課題について、広く市民が気づき、考えるきっかけとなる機会を提供し、男女共同参画社会づくりにつなげていく。楽しみながら自然と男女共同参画の考え方に触れてもらうきっかけとすることを目指す。 内容:No.41と同じ 目標値:No.41と同じ 予算額:149千円</p>	<p>No.41と同じ ※今年度はLGBT理解促進のための市民向け意識啓発活動と併せた形で実施した。</p>	<p>来年度は市民に対し、性の多様性と男女共同参画のそれぞれについて考える機会をより広く提供できるよう努める。</p>	<p>—</p>

基本施策2 男性のための男女共同参画に関する啓発

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
5	男の料理教室	地域経営課 (大崎会館) ※大崎公民館の取組を継続して行う。	継続	実施時期:1月～2月(3回) 対象:大崎・保内地区の成人男性 目的:男性が料理に興味を持ち、家庭での家事参加につなげることで固定的役割分担意識を変えていく。 内容:男性が料理を作る楽しさを感じ、家事に参加するきっかけとなるように料理教室を実施する。 前年度からの改善点:アンケートで要望があった家庭でも作れる料理を学べる内容とする。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:21千円	参加者数:9人 内容:1/18(火)和風料理(魚の照り焼き・鶏塩肉じゃが・無限ネギ) 2/1(火)洋風料理(フライパンキッシュ・鮭のマヨネーズ焼き・アボカドとトマトの醤油和え) 2/15(火)中華料理(海鮮チヂミ・鮭チャーハン・野菜たっぷりチャプチュエ) 手軽にできるフライパン料理を献立にすることにより、男性が料理に興味を持ち、家庭での家事参加につながるよう開催した。 工夫した点: ・男の料理教室に参加しやすいように、「手軽にできるフライパンランチ、家にある食材とフライパン一つで気軽に作れる料理を学べます。」と、大崎会館だよりに掲載した。 ・献立は和風、洋風、中華の3回コースで、料理は3品とし男性が無理なく、家庭でもできるものを講師と相談して決めた。 目標値に対する結果:教室受講後に、家で作ってみた人の割合が56%、今後家庭で料理を作ってみようと思った人の割合が78%で目標値達成 決算(見込)額:21千円	参加者から「郷土料理」、「簡単な家庭料理」を作りたいと希望があったことを踏まえ、参加者から家庭で作ってもらえるような内容にする。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18= 100%
6	男の料理教室	生涯学習課 (栄公民館)	継続	実施時期:12月～3月 対象:主に栄地区の成人男性 目的:「男だから」「女だから」という固定的役割分担意識を変えていく。 内容:「自分で作れる」「誰かに作って喜ばれる」「また作りたくなる」料理を学ぶ。和食・洋食・郷土食など様々なメニューを取り入れ、食と健康や減塩について学ぶ。固定的役割分担意識チェックシートを取り入れ、料理を通じて「男女共同参画」について考えてもらう。 前年度からの改善点:手軽で作りやすいメニューを取り入れ、毎日の食生活と健康について考える機会を作る。料理を入口に、固定的役割分担意識など男女共同参画を自分事として捉えてもらう機会を作る。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:21千円	参加者数:12/17…9人、1/7…10人、3/15…7人 内容:和食・洋食・郷土食など様々なメニューを取り入れたメニューで、食と健康について学んだ。最終回には固定的役割分担意識チェックシートを実施し、料理を通じて「男女共同参画」について考えてもらうことを予定。 工夫した点:様々なジャンルのメニューを取り入れ、減塩やだしの取り方など料理の基本を学ぶことで、家で料理をする機会が増えるような内容を選定した。 目標値に対する結果:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が71.4%で目標値達成 決算(見込)額:21千円	引き続き、メニューを工夫し、男性も気軽に料理を学べる内容の講座を開催することで、男女共同参画を自分事と捉えてもらう機会を作る。	A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…2点 6…— 合計 14/15= 93.3%

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
7	プロから学ぶ男の料理教室	生涯学習課 (下田公民館)	継続	<p>実施時期:10月～12月 対象:主に下田地区の男性 目的:固定的性別役割分担意識をなくし、料理を楽しく感じられること、また、その後の生活に活かしてもらえることを目的とする。 内容:男性が料理に興味をもち、その後の家事の参加のきっかけになるよう、また仲間作りに役立てるよう、男性向けの料理教室を開催する。和食の基本をプロの料理人に教えてもらう。 前年度からの改善点:まずは興味を持ってもらうためにも昨年度のアンケートを参考に作りたいメニューを取り入れつつ、プロに基本をしっかりと教わるような講座とする。 目標値:教室受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が50%以上 予算額:21千円</p>	<p>参加者数:15人 内容:第1回…ホテル直伝幕の内弁当、第2回…簡単酒のつまみ、第3回…正月用太巻き寿司 工夫した点:料理に興味を持っていただける内容とした。また、コロナ禍の外出自粛期間中でも家で楽しめるようなレシピとした。酒のつまみは簡単に和えるだけのものなどが多く、家での挑戦のきっかけになった。 目標値に対する結果:講座受講後に、実際に家で作ってみた人の割合が66.7%で目標値達成 決算(見込)額:21千円</p>	<p>講座で作ってみるだけでなく、家庭でも作れて家族・友人に振舞うことのできるような内容を検討する。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 18/18= 100%</p>
8	認知症サポーター養成講座	高齢介護課	継続	<p>実施時期:通年 対象:市民 目的:男女問わず、誰もが認知症の人やその家族の気持ちを理解し、認知症の人を地域で支える必要性を啓発することで、男女が共に暮らしやすいまちづくりを目指す。 内容:認知症について、正しく理解し、認知症の人を誰もが温かく守る地域づくりを進めるため、地域における見守り役となる認知症サポーターの養成を行う。小中学生を含む若い世代に加え、高齢者が訪れる機会が多い企業を対象とした講座が開催できるよう対象団体に周知し、講座の開催を呼びかける。 前年度からの改善点:若い世代の認知症サポーターを養成するため、新型コロナウイルスの影響で申込みのなかった小中学校に対し、引き続き講座開催の周知を行う。また、講座に従事できるキャラバン・メイトを育成する。 目標値:認知症サポーター養成講座受講者数 600人 予算額:362千円</p>	<p>参加者数:728人(うち男性332人、女性396人) 内容:31回実施(住民7回、企業団体12回、学校8回、行政4回) 工夫した点:高齢者等の見守りに関する協定を締結した企業に対して講座を実施することで、男女問わず、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指した。また、小中学校への周知を引き続き行った。 目標値に対する結果:受講者数728人で目標値達成 決算(見込)額:240千円</p>	<p>今年度は、昨年度からの周知の結果として、小中学校からの申込みがあったが、圏域によっては申込みのないところもあった。 来年度も引き続き関係機関への周知を行い、各圏域で講座を実施できるよう働き掛ける。</p>	<p>A 1…— 2…1点 3…3点 4…3点 5…3点 6…3点 合計 13/15= 86.7%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況、目標値への到達度	来年度に向けた課題及び改善点	担当課評価
9	育児講座	子育て支援課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 乳幼児の保護者 目的: 子育て拠点施設に来館し、講座に参加してもらうことで、男性が女性とともに育児に関わるためのきっかけとする。 内容: 子育て拠点施設(すまいるランド及びあそぼって)において、男性が参加しやすい講座を実施する。(月1回程度) 前年度からの改善点: 平日の主な利用者は女性であることから、土日祝日などに男性が子どもと一緒に参加しやすい講座を開催する。また、参加募集時の表現に注意する。 目標値: 男性参加率25%以上 予算額: 32,228千円(指定管理料を含む)</p>	<p>参加者数: 519人(うち男性144人、女性375人) 内容: すまいるランド420人(うち男性113人、女性307人) 子どもわくわく広場(5回)、楽しいおりがみ(第1土曜日)、親子で作ろう(第3日曜日)(19回) あそぼって99人(うち男性31人、女性68人) つくってあそぼう(第4土曜日)(10回) 工夫した点: 前年度と同様、男性が子どもと一緒に参加しやすい土、日、祝日などに講座を開催することで、男女双方の利用促進に努めた。 目標値に対する結果: 男性参加率は、すまいるランド26.9%、あそぼって31.3%、両施設合計27.7%で目標値達成 決算(見込)額: 32,228千円(指定管理料を含む)</p>	<p>感染症対策による各種講座の実施方法の見直し等により開催回数・参加者数ともに減少している中ではあるが、引き続き少しでも男性の育児参加に繋がるような講座の開催を検討する。</p>	<p>A 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…2点 6…2点 合計 15/18= 83.3%</p>
10	男女共同参画講座(再掲)	地域経営課	継続	No.4に同じ			
11	男女共同参画出前講座	地域経営課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市内各種団体 目的: 男女共同参画意識の醸成を図る。 内容: 各種団体の勉強会などに講師を派遣し、男女共同参画の視点からの内容を話してもらう。 前年度からの改善点: 出前講座の開催依頼が減少しているため、9月までにテーマ及び講師の再検討を行い、より多くの団体の講座開催につなげる。 目標値: 年間7回以上開催 予算額: 74千円</p>	<p>実施回数: 4回(6回の申込みのうち2回中止) 参加者数: 139人 内容: 「怒りの感情と上手く付き合う方法～アンガーマネジメント～」1回、「ネットワーク三条研修会～僕たちの育休体験談～」1回、「みんなで取り組む減災・防災～向き不向きよりやる気が大事～」1回、「私を支えてくれる人、鍛えてくれる人～避けては通れない人間関係を味方にする～」1回 工夫した点: 前年度まで講師をやってくださった方2名が少なくなったことにより、新たな講師を検討した。より市民が聞きやすい内容のメニューとなるよう講師を選定した。 目標値に対する結果: 年間4回開催で目標値未達成 決算(見込)額: 34千円</p>	<p>今年度、テーマ及び講師の再検討を行い、来年度新たに講師をしてくださる方が見つかった。引き続き、来年度もより市民の興味が湧くようなテーマ及び講師の検討を行い、開催数が増加するよう努める。</p>	<p>B 1…3点 2…3点 3…3点 4…2点 5…2点 6…1点 合計 14/18= 77.8%</p>

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
12	農業従事者向け広報・啓発	農林課	継続	<p>実施時期:通年 対象:市内農業従事者向け説明会参加者及び農業関係協議会事業参加農業者 目的:農業従事者は従前から家族労働を基準とした方が多く、男女共同参画についての関心が非常に薄いのが現状と思われる。そのため、農業従事者が集まる機会を活用し、男女共同参画の理念やワークライフバランスを周知することで、家族内での理解を深めてもらう。 内容:農業従事者が多数集まる機会を利用し、広報誌等の配布物を活用して家庭内で家族と検討してもらうことを促す。 前年度からの改善点:引き続き三条市農業担い手協議会とも連携した活動を行うことにより、今後の推進活動に繋げていく。 目標値:農業従事者向けの説明会及び農業関係講演会を開催する時に、男女共同参画に関する資料を年1回以上配布することで、農業者が男女共同参画について考える機会を増やす。 また、女性農業者(農村生活アドバイザー)から男女共同参画への関わり方への意見聴取を年2回以上行う。</p>	<p>参加者数:8人(うち女性8人) 内容:農村生活アドバイザー会議時に、男女共同参画に関する資料を配布し、女性農業者の立場から男女共同参画への関わり方についての意見を聞く場を2回設けた。 企画した講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止。 工夫した点:男女共同参画を農村生活アドバイザー会議の議題の一つとして取り入れた。 ※使用資料:「これからの農業経営のためのハンドブック・女性とはたらく」(農林水産省作成) 目標値に対する結果:目標値未達成</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年より話し合いの場が少なくなった。引き続き、三条市農業担い手協議会とも連携した活動を行うことにより、今後の推進活動に繋げていきたい。</p>	<p>B 1…— 2…— 3…— 4…3点 5…3点 6…1点 合計 7/9= 77.8%</p>

基本施策3 方針・政策決定の場等への女性の参画促進

No	事業名	担当課等	区分	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課評価
13	審議会等への女性委員の登用率向上のための指導	行政課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 審議会等を運営する各課 目的: 定期的な各課への周知や原因分析をすることにより、積極的に女性委員を登用し、男女共同参画の啓発を図る。 内容: 「審議会等の設置、運営等に関する指針」に基づき、その適正な運用について継続的に指導、助言、周知を図る。 また、特に女性委員登用率が低い審議会等については、推薦を依頼する団体に、長に限らず女性を推薦してもらう協力要請を繰り返し働き掛けていくとともに、公募枠の委員や有識者・学識経験者の選定について女性の登用を配慮する等、令和3年度登用目標率30%の達成に向けて取り組む。 前年度からの改善点: 引き続き、団体から推薦いただく委員については可能な限り女性の推薦を依頼するよう要望するとともに、公募枠、有識者・学識経験者枠の選定についても女性を積極的に登用するよう周知を行う。また、必要に応じて実施状況等のヒアリングを行う。ホームページに掲載している「審議会等一覧表」に新たに委員の女性比率を記載することで、問題意識を醸成する。 目標値: 女性登用率30%(令和3年度中)</p>	<p>内容: 審議会等委員のデータ更新作業依頼時(年4回)に、推薦を依頼する団体等に対して長に限らない女性委員の推薦協力の要請や公募枠の委員、有識者・学識経験者の選定に女性を積極的に登用する等の周知を図った。また、女性登用率の低い審議会等については必要に応じて実施状況等のヒアリングを実施した。 工夫した点: 委員推薦を依頼する際の文書には女性の積極的な推薦をお願いしたい旨を必ず明記するよう、再度依頼した。 目標値に対する結果: 女性登用率25.31%(令和4年1月1日時点)で目標値未達成</p>	<p>引き続き、団体から推薦いただく委員については可能な限り女性の推薦を依頼するよう要請するとともに、公募枠、有識者・学識経験者枠の選定についても女性を積極的に登用するよう周知を行う。また、実施状況等のヒアリングも継続して行っていく。</p>	<p>B 1…— 2…— 3…— 4…2点 5…2点 6…2点 合計 6/9= 66.7%</p>
14	農業関係協議会等における女性の参画促進	農林課	継続	<p>実施時期: 通年 対象: 市内農業従事女性 目的: 家族従事者としての役割を担っている女性の意見を取り入れる体制をつくりあげる。 その意見を地域農業に反映させることにより、女性主体の農業の確立を目指す。 内容: 農業関係協議会への女性の参画促進を図る。 「三条市農業担い手協議会」で行う講演会・総会等の出席案内において、役員以外の女性会員へは案内封書だけではなく、直接的な声掛けを行い女性の参画を促す。 また、役員全員が男性のため、女性役員を配置する。複数名の女性役員を設置し、順番で会議に参加する等の柔軟な体制をとる。役員会議時間帯は平日夜に行っているため、女性が参加しやすい平日か休日の昼間に会議を行う回も設定していく。 前年度からの改善点: 女性会員数が少ないため、家族会員から増加させるなど役員へ検討してもらう。 目標値: 「三条市農業担い手協議会」における女性役員を1名以上増やす。</p>	<p>内容: 新型コロナウイルス感染症対策により講演会中止 工夫した点: 講演会の議題に男女共同参画を取り入れた議題を取り入れていただくように提案していたが、新型コロナウイルス感染症対策により講演会が中止となり、その機会がなかった。 『人・農地プラン検討会』(人・農地プランとは、農業者が話し合いに基づき、地域における農業の将来の在り方などを明確化したもの)の検討委員に、新たに女性委員1名を委嘱し、今後の取組への新たな視点が期待される。 目標値に対する結果: 目標値未達成</p>	<p>三条市農業担い手協議会は会員数170名のうち女性会員は5名で構成されている(R4.2.3現在)。女性の会員数が少ない為、家族会員から増加させるなど役員へ検討してもらうよう声掛けをする。また、農村生活アドバイザーからも声掛けをしていただく。</p>	<p>B 1…2点 2…— 3…— 4…2点 5…2点 6…1点 合計 7/12= 58.3%</p>